



# コラボ

東近江市市民協働推進委員会ニュースレター

Vol.02

平成 24 年 9 月

発行：東近江市 企画部  
まちづくり推進課

## 協働について皆で意見を出し合いました

前回の第1回東近江市市民協働推進委員会では、各委員の自己紹介や委員会の趣旨・目的をはじめ、中川顧問のほうから「今、なぜ市民協働なのか？」について講演いただき、『協働』について理解を深めてもらいました。

8月6日(月)開催の第2回の会議では『協働』についての認識を共有し、足並みを揃えていくことを目的に3グループに分かれ、グループごとに各自の『協働』についての考えを話し合いいただきました。今回のニュースレターでは、第2回目の委員会の様子を紹介します。

### 「第2回 東近江市市民協働推進委員会」報告

事務局・委員長のあいさつから始まり、オリエンテーション(前回委員会意見や他市での協働事例の紹介)をふまえ、3グループに分かれてワークショップを実施しました。

ワークショップでは、「協働とは何だろうか?」「こんなのも協働ではないか」など『協働』に関して活発な意見交換がなされ、各自認識を共有しました。



ジャパン総研より、前回委員会意見及びふりかえりシートまとめと他市での協働事例についてオリエンテーションがありました。

東近江市の協働への認識まとめ

1. 協働という言葉を開いて、思い浮かぶことは何ですか。

- 夫婦、親子、友人、チーム、プロジェクト、パートナーシップ、グループワーク、仲間、助け合い
- 市民、市民団体等が市と対等の立場であるということ
- お互いの立場をよく理解し、いろいろ議論しながら、これからのまちづくりへの取り組みを推進していくこと
- 複雑化・多様化する住民ニーズや地域の課題解決、活力のある地域づくりのために有効な手段
- 「市民相互の協働」と「市民と行政の協働」があると思う

オリエンテーションにおいては、資料やプロジェクターを使い、概要の説明を行いました。

### 会議の流れ

- 1 開会
- 2 あいさつ
- 3 オリエンテーション
  - ・前回委員会意見及びふりかえりシートのまとめ
  - ・他市の協働事例の紹介
- 4 ワークショップの趣旨説明
- 5 3グループに分かれてワークショップ
- 6 グループごとに発表
- 7 委員長による総括
- 8 次回の日程調整
- 9 閉会

# 各グループの意見及び委員長による総括について

## Aグループ



### 主な委員意見

地域コミュニティは、行政と市民・市民団体との協働が肝要  
行政に関わる人々がもっと地域の人と関わることが必要と感じる

### Aグループメンバー

端 信子	北川 久補	河島 修	田中 浩
井口 みゆき	福井 健次		

## Bグループ



### 主な委員意見

知ることからもう一步踏み込む  
住民自治のあり方を住民自身が考え直すことが重要ではないか

### Bグループメンバー

土井 正義	上田 裕子	楠神 渉	森田 初枝
井上 泰夫	三上 俊昭	久保 文裕	村田 淳子

## Cグループ



### 主な委員意見

協働のイメージとして多様性・お互いを認めるというイメージがある  
教育や保育は協働にそぐわないのか気になる

### Cグループメンバー

北川 陽子	廣田 喜紀	川戸 健一	井尻 久嗣
西澤 静朗	高山 幸生	藤井 盛浩	

## 総括

Aグループでは「コミュニティがどうあるべきか」という意見、Bグループでは「できることを知る」「本質的な自治のあり方とは何か」という意見、Cグループでは「教育や保育は協働か?」という投げかけなど3グループとも角度は違えど、重要な意見が出ていました。これらの意見をベースにして、東近江市らしい協働のあり方を考えていければと思います。



タイトルのコラボは、「共に働く」、「協力する」を意味するコラボレーションから名付けました

詳しい内容については、市役所ホームページ(<http://www.city.higashiomi.shiga.jp/>)に会議録を掲載しておりますのでそちらもご覧ください。